

ロボットプログラミング選手権2026（病弱教育部門）大会要項

1. 目的

- ・プログラミング教育において、ロボットを意図的に動かすために必要な論理的思考力を育てる。
- ・入院等により様々な制限下で学習している病気療養中の児童生徒同士が、本大会を通じて時間や場所を共有することで、学ぶ楽しさや自己有用感を実感することができる機会を提供する。
- ・ICT機器等を活用した遠隔型の全国大会及び地区大会を行うことで、病気療養中の児童生徒の遠隔教育を推進し交流を図る。

2. 主催

全国特別支援学校病弱教育校長会

3. 共催

全国特別支援学校病弱教育教頭会

4. 後援（予定）

文部科学省、埼玉県教育委員会、埼玉県特別支援学校校長会

5. 大会内容

- ・プログラミングロボット「プロロ」を使用し、ロボット相撲（トーナメント戦）を行う。
- ・出場チームはプログラムを作成し、大会事務局へ事前に提出する。
- ・地区大会、全国大会ともに Web 会議システム等を利用し、オンライン上で行う。（観戦も同様）

6. 参加資格

全国特別支援学校病弱教育校長会 加盟校 89 校（オブザーブ校及び分校を含む）に在籍する小学部児童及び中学部・高等部生徒

7. 競技規定

別紙「ロボットプログラミング選手権競技規定」による。

8. チーム構成

各校2チーム以内（1チームは児童生徒1～3名で構成）出場できる。ただし、児童生徒1名で複数のプログラムを作成しても良いこととする。また、全国大会においては1チーム最大6名まで登録可能とする。（入退院または転入出等により、児童生徒の在籍状況が変化するため）

※「競技規定」参照

9. エントリー期間

令和8年6月22日（月）～令和8年7月10日（金）

10. エントリー方法

エントリー期間内に各地区大会運営事務局校へ、指定された方法でエントリーする。

(必須項目：学校名、参加チーム数、担当者名、連絡先メールアドレス)

11. ロボットと土俵

- ・大会で使用するロボット及び土俵、電池は、大会運営事務局が用意する。
- ・ロボットは電池の消耗による個体差が出ないようにするため、1試合ごとに同じメーカー、同じ型番の新しい電池に交換し試合を行う。
- ・プログラムのロボットへの転送は、大会運営事務局が一括して行う。
- ・識別のため、ロボットの上面にはチームのロゴマークを、背面には赤と青の付箋を貼り付ける。

【ロボット】

- ・プログラミングロボット「プロロ」を使用する。

※プログラムの作成には、アプリ「ぷろろメーカー」を動かせるパソコンが必要

「ぷろろメーカー」はこちら → <https://www.mirai-school.jp/proro/dl/>

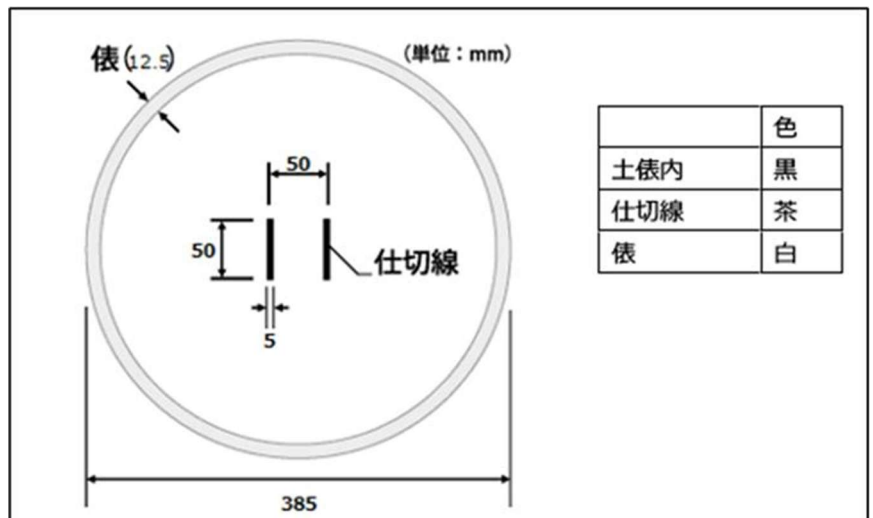
＜プロロ仕様＞寸法：W60mm x D65mm x H45mm 以内 重量：70g 以内

- ・電源単4形電池×2（アルカリ乾電池またはニッケル水素電池）
- ・駆動方式タイヤ2輪駆動

【土俵】

- ・土俵のサイズは次のとおりとする。

※「競技規定」参照



12. データの提出

各大会運営事務局より指定された日までに、指定された方法で、以下①～③（*全国大会は④まで）のデータを各大会運営事務局校に提出する。

※各データの作成方法については別紙「データ作成の手引き」を参照。

- ① 戦術表（全国大会運営事務局 HP からダウンロード）
- ② プログラム 1～3
- ③ チームのロゴマーク

*④ 技術賞及び特別賞記入用紙（全国大会運営事務局 HP からダウンロード）、チーム紹介動画

データ提出締切日	
全国大会	令和 8 年 12 月 31 日 (木)
地区大会	各地区大会運営事務局校 HP に掲載 (地区により提出日は異なる)

13. 地区大会 ※詳細は、各地区大会運営事務局校 HP に掲載

- ・全国5地区で地区大会を行う。（北海道東北、関東甲信越、近畿東海北陸、中国四国、九州）

	期 日	地 区	会 場
令和 8 年	10月2日（金）	関東甲信越地区大会	埼玉県立けやき特別支援学校
	11月18日（水）	近畿東海北陸地区大会	福井県立福井東特別支援学校
	12月1日（火）	九州地区大会	沖縄県立森川特別支援学校
	12月9日（水）	中国四国地区大会	鳥取県立鳥取養護学校
	12月17日（木）	北海道東北地区大会	山形県立山形養護学校

14. 全国大会

- ・各地区大会の成績上位チームが全国大会に出場できる。ただし、全国大会会場校（※1）は、1 枠出場権があるものとする。（最大22チーム）
- ・全国大会出場枠数は、各地区大会への参加チーム数によって割り振る。
（参加チーム数決定後に、各地区大会運営事務局へ全国大会出場枠数をお知らせします。）
- ・プログラムの変更は可とする。（※2）
- ・チーム紹介の時間を設ける。（※3）
- ・入賞（優勝・準優勝・3位）チームには、賞状・盾・メダルを授与する。
- ・全対戦終了後、エキシビジョンマッチを行う。（※4）

期 日	会 場
令和 9 年2月10日（水） 9：30～15：00 （予定）	埼玉県立けやき特別支援学校

15. 技術賞及び特別賞

- ・全国大会に出場したチームのうち、入賞チームを除いた中から技術賞及び特別賞を選考する。

【技術賞】

- ・選考対象：全国大会出場チームの推薦プログラム（※5）
（各校から1チームにつき1プログラムを推薦する。）
- ・優秀なプログラムに対し、技術賞を授与する。（最大2プログラム）
- ＜審査の観点＞攻撃、回避、追尾などについて、技術的視点より総合的に審査する。

【特別賞】

- ・選考対象：全国大会出場チーム（※5）
- ・プログラミングへの熱意や工夫に富むチームに対し、特別賞を授与する。（最大1チーム）
- ＜審査の観点＞プログラミングへの意欲や取り組みについて、教育的視点より総合的に審査する。

16. 参加賞

- ・地区大会及び全国大会において、大会参加チームに参加賞を授与する。

17. 大会運営事務局主管校（問合せ先） 【受付時間】 9:00～16:30（土日祝を除く）

全国大会及び 関東甲信越地区 大会運営事務局	埼玉県立けやき特別支援学校 ロボットプログラミング選手権 2026（病弱教育部門）大会運営事務局 電話番号：048-601-5531 メールアドレス： keyaki.robopro@spec.ed.jp 関東甲信越地区大会 HP： https://keyaki-sh.spec.ed.jp/ 全国大会 HP： https://zentokucho.jp/robopro2026
北海道東北地区 大会運営事務局	山形県立山形養護学校 電話番号：023-684-5722 メールアドレス： yyamayo@pref-yamagata.ed.jp HP： http://www.yamagata-sh.ed.jp/
近畿東海北陸地区 大会運営事務局	福井県立福井東特別支援学校 電話番号：0776-53-6575 メールアドレス： fhs-info-01@fukui-ed.jp HP： https://www.fukuihigashi-sh.ed.jp/
中国四国地区 大会運営事務局	鳥取県立鳥取養護学校 電話番号：0857-26-3601 メールアドレス： toriyo.tottori@gmail.com HP： https://www.torikyo.ed.jp/toriyo-s/
九州地区 大会運営事務局	沖縄県立森川特別支援学校 電話番号：098-945-3008 メールアドレス： school@morikawa-sh.open.ed.jp HP： https://www.morikawa-sh.open.ed.jp/

18. その他

- ※1 全国大会会場校は、全国大会出場権を1枠得ることができる。ただし、地区大会において上位入賞等で全国大会出場権を得た場合、全国大会に参加できるのは1校につき最大2枠までとする。
- ※2 地区大会で作成したプログラムを全国大会用に変更する場合でも、チーム名、個体名の変更は不可とする。

	チーム名	個体名	プログラム
全国大会	<u>変更不可</u>	<u>変更不可</u>	変更可

- ※3 チーム紹介は1校30秒以内、動画での発表とする。動画データの提出締切は、令和9年1月中旬を予定している。
- ※4 エキシビジョンマッチは、各チームの技術賞に推薦したプログラムを使用する予定である。（詳細は後日）
- ※5 技術賞及び特別賞の審査用に、各チームの取組やプログラムについての工夫点を記入用紙（全国大会運営事務局校 HP よりダウンロード）に記入し提出する。